令和８年１１月１１日
世田谷保健所健康企画課

# 今夏の熱中症対策への取組み状況について

## １　主　　旨

近年の酷暑化の進展に伴い、高齢者を中心に熱中症による救急搬送につながるケースが発生するなど、熱中症対策の重要性が高まっている。

区では、このような状況を踏まえ、熱中症予防「お休み処」の設置をはじめとした熱中症予防の取組みを行っているところである。

この度、東京消防庁等による熱中症救急搬送者数等の速報値（令和８年９月末まで）の公表を受け、今夏における区内の熱中症発生状況及び区の取組みを報告する。

## ２　取組期間

令和８年６月１５日（月）～９月３０日（水）

## ３　主な取組み

（１）熱中症予防「お休み処」の設置

・過去最多の３２７か所を設置し、外出時に休憩できる環境を確保した。
（本庁舎・総合支所・出張所・まちづくりセンター等の公共施設、まちのステーション、ファーマーズマーケット、高齢者・障害者施設、調剤薬局、接骨院・整骨院、公衆浴場など）

・一部施設では「ミネラルウォーター（ボトル缶)」及び「塩分タブレット」を提供し、水分・塩分補給の機会を提供した。

（２）「せたがや涼風マップ」の配布

・公共施設の窓口、熱中症予防「お休み処」、あんしんすこやかセンター職員等による高齢者宅への訪問活動等で配布し、熱中症予防「お休み処」の場所や、熱中症予防のポイントや注意事項などの情報を周知した。

（３）「熱中症予防シート」配付による予防啓発

・７５歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、孤立のおそれのある高齢者に対し、あんしんすこやかセンター、区職員による高齢者宅への訪問活動の機会を活用し、配布した。

・暑さを自覚しにくい高齢者等に対し、夏季の気温上昇への注意喚起を実施した。

（４）「熱中症予防啓発チラシ」による注意喚起

・町会・自治会での回覧や、保育園、幼稚園、小・中学校での配布により、熱中症予防に関する注意喚起を実施した。

・熱中症予防及び熱中症が疑われた場合の対処方法を周知した。

（５）大塚製薬との官民連携協定による予防啓発

・ＮＰＯ法人気象キャスターネットワークとも協力し、作成した熱中症予防啓発動画をせたがや動画（YouTube 区公式チャンネル）で配信した。

・世田谷区脱炭素化プロジェクト「UCHIKARA プロジェクト」において、熱中症予防

に関する記事を掲載し、適切なエアコンの使用やこまめな水分補給等の予防行動について周知した。
・ポスター「熱中症に気を付けよう！」を作成し、熱中症予防「お休み処」各施設や公共施設、教育施設、広報板等に掲示した。
・職員を対象とした「熱中症対策アンバサダー養成講座」を実施し、職員の熱中症予防に関する知識及び意識の向上を図った（受講者 111 名）。
・官民が共同で熱中症予防を呼びかける国民運動「熱中症声かけプロジェクト」主催の「ひと涼みアワード 2026」において、熱中症予防「お休み処」の設置や普及啓発活動などの取組みが評価され、「官民連携・啓発部門」の優秀賞を受賞した。

（６）イベントでの周知
・せたがや健康フェス 2026、地域イベントにおいて、熱中症予防に関する普及啓発に取り組んだ。
・熱中症予防クイズを実施し、熱中症の危険性や予防方法について周知した。

（７）暑熱順化に関する取組み
・東京都との共催により暑熱順化講習会を実施し、気象予報士による熱中症予防に関する講演、体操指導者による健康体操を通じて、暑熱順化の実践機会を提供した（参加者４７名）。
・区公式 LINE（ライン）の一斉配信により、暑熱順化の必要性や具体的な実践方法（軽い運動、入浴等）について普及啓発を行った。

４　気象状況・熱中症発生状況（東京都監察医務院及び東京消防庁調べ）

| 年　　度 | | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 | 令和８年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 期　　間 | | ６月１日～９月３０日 | | | | |
| 梅雨明け | | 7/23 頃 | 7/22 頃 | 7/18 頃 | 6/28 頃 | 7/19 頃 |
| 最高気温が３５℃以上の猛暑日の日数 | | １６日 | ２２日 | ２０日 | ２９日 | １２日 |
| 最低気温が２５℃を下回らない熱帯夜の日数 | | ２７日 | ５７日 | ４７日 | ５５日 | １６日 |
| 熱中症警戒アラート発表日数 | | １０日 | ２６日 | ３７日 | ４０日 | ３６日 |
| 熱中症特別警戒アラート発表日数 | | ― | ― | ０日 | ０日 | ０日 |
| 東京暑さ情報発表日数 | | ― | ― | ― | ０日 | ０日 |
| 救急搬送者数 | | ３１８人 | ３４７人 | ３７６人 | ４４６人 | ３２２人 |
| 死亡者数 | 区内 | １８人 | ９人 | １８人 | ５人 | １３人 |
| | 23 区内 | ２０６人 | １６４人 | ２６３人 | １３７人 | １３４人 |

※熱中症警戒アラート
環境省より暑さ指数情報提供地点（都内１１か所）いずれかにおいて暑さ指数（WBGT）が３３に達すると予測される場合に発表
※熱中症特別警戒アラート
環境省より全ての暑さ指数情報提供地点（都内１１か所）において、暑さ指数（WBGT）が３５に達すると予測される場合に発表（令和６年度から新設）
※東京暑さ情報

東京都より都内の区市町村庁舎地点６２か所のうち、いずれかで翌日・当日の最高暑さ指数（WBGT 近似値）が３５以上となる場合、その区市町村地点の情報を提供（令和７年度から新設）

５　今年度の取組み状況等を踏まえた今後の対応について

今後も継続して、熱中症予防「お休み処」の設置をはじめとした熱中症予防対策に取り組むとともに、官民連携による情報発信や、デジタルサイネージなど、多様な媒体を活用した周知啓発に取り組み、区民の熱中症予防行動の定着を図る。